



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

8月に定額減税不足額給付へ

令和7年度一般会計補正予算質疑

日本共産党の木下みえ子議員は、5月30日、6月定例会において令和7年度一般会計補正予算の定額減税調整給付金不足額給付事業について質疑を行いました。

不足額給付期限は

10月31日まで

補正予算額は8億6104万2千円で、7月19日から10月31日まで不足額給付事業が行われます。財源は、全て国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付

金でまかなわれます。

対象外の事業専従者 国会追求で給付実現

国は昨年、物価高騰対策を名目に所得税3万円と住民税1万円の定額減税と調整給付を実施しました。

本市では令和6年7月から実施されましたが、中小業者の配偶者など白色・青色申告の事業専従者の一部は対象外となっていました。全国商工団体連合会の要求や、国会で日本共産党の

田村貴昭衆院議員や小池晃参院議員が追求したことで「事業専従者を含めて制度上、本人としても扶養親族としても対象とならない場合に適切に給付措置と一体で翌年に対応する」として、給付金対応が実現しました。

対象者数は 約26300人

今回の給付対象者は2種類です。一点目は、令和6年分の所得税確定で所得税減税対象となる人数を前年からの推計で21000人とし、約5億8800万円。二点目は、事業専従者等への給付金です。所得48万円超で減税の対象でなかった方が2918人と、世帯主が課税者となる専従者412人で合計3330人ですが、推計値のため5300

人を見込み、約2億1200万円です。

木下議員は「定額減税は青色・白色申告の専従者について、所得税法第56条を根拠に対象外とした不公平な実態があった。不足額給付について、全対象者にプッシュ型で漏れなく知らせることや簡易な方法での申請を、専従者の方々は求めています。わかりやすい周知と相談窓口を設けることが必要です」と質しました。

福祉部長は「要件に該当する方にはチラシなどの通知を全ての対象者に郵送します。市で口座を把握している方にはプッシュ型で給付を行い、そうでない場合は、振込口座の返送で給付します。相談窓口は8月から10月31日までコールセンターを設置します」と答弁しました。



国保税4年連続の引上げか

国保特別会計補正議案質疑

5月27日、6月議会本会議質疑が行なわれ、議案第70号国保特別会計補正予算、議案第71号後期医療特別会計補正予算について、今尾議員が質疑をおこないました。

財源は別に求めるべきと主張

この補正は、子ども子育て支援金制度創設に伴うシステム改修であり、国から全額が補填されます。

子ども・子育て支援金制度とは、こども未来戦略（令和5年12月決定）の加速化プランに盛り込まれた少子化対策の財源を確保するための新しい仕組みです。

総額で3・6兆円となる

財源のうち1兆円を、「社会全体で子育てを支える」名目で国保や後期にも上乗せをして徴収するものです。下表のように子ども家庭庁の試算では令和10年度まで3年かけて負担額を増やしていきます。（まだ決定ではありません）

令和7年度から国保税の大幅値上げが準統一化の中ではじまり、7・8・9年度と3年かけて引上げられます。つまり、4年間も引上げが続くことになります。子育て世代の経済的負担軽減は当然ですが、今でさえ、負担の重い国保税や後期医療保険料に上乗せするやり方は問題です。

子ども・子育て支援金に関する試算（医療保険加入者一人

	加入者一人当たり支援金額		
	令和8年度見込み額	令和9年度見込み額	令和10年度見込み額 ①
全制度平均	250円	350円	450円
被用者保険	300円 〔参考〕被保険者一人当たり450円	400円 〔参考〕被保険者一人当たり600円	500円 〔参考〕被保険者一人当たり800円
協会けんぽ	250円 〔参考〕被保険者一人当たり400円	350円 〔参考〕被保険者一人当たり550円	450円 〔参考〕被保険者一人当たり700円
健保組合	300円 〔参考〕被保険者一人当たり500円	400円 〔参考〕被保険者一人当たり700円	500円 〔参考〕被保険者一人当たり850円
共済組合	350円 〔参考〕被保険者一人当たり550円	450円 〔参考〕被保険者一人当たり750円	600円 〔参考〕被保険者一人当たり950円
国民健康保険 （市町村国保）	250円 〔参考〕一世帯当たり350円	300円 〔参考〕一世帯当たり450円	400円 〔参考〕一世帯当たり600円
後期高齢者 医療制度	200円	250円	350円

今尾議員は、「少子化対策や、子育て支援は必要だが、国保・後期に財源を求めるのはおかしい。このシステム改修をやるか、財源は別に求める選択肢などはないのか」

と質しました。健康保険部長は、「社会全体で子育てを支えていくため、国民に広く負担をしいただくこのシステム改修は必要なものと認識しています」と、答弁しました。

市立医療センター Ⅱ 735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談#7119
6/8(日) 内科系 いまいクリニック（上蛭田25-1） ☎048-755-7876 小児科系 春日部ふじばなファミリークリニック（イオンモール春日部1階） ☎048-797-8027 外科系 武里外科・脳神経外科（大畑241-2） ☎048-736-7516
6/15(日) 内科系 松村医院（六軒町549） ☎048-735-6800 小児科系 ゆりのき医院（谷原1-16-20） ☎048-752-3535 外科系 桜井整形外科（増富96-3） ☎048-761-6629